



令和5年7月13日

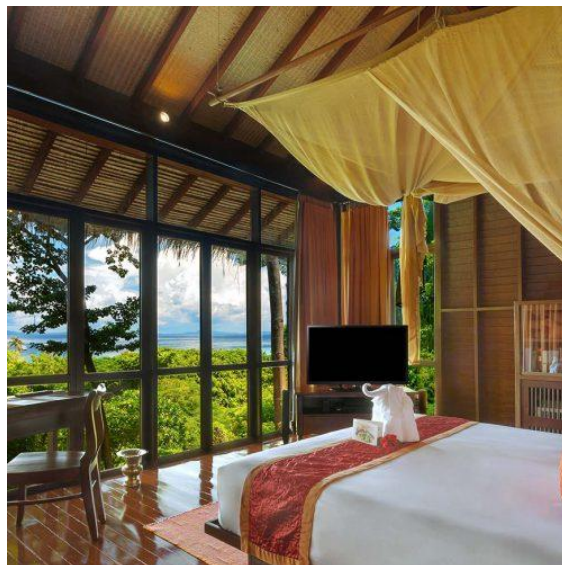
各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2161)

ゼボラリゾートが主要設備の改修・補修を完了、全施設の稼働を再開 —実施中のリノベーション完了とともに一層の収益拡大を目指す—

当社は当社グループが保有するタイ、ピピ島に所在する高級リゾート「ゼボラリゾート」より、7月12日客室 Villa を始めとする重要施設の基盤設備の改修・補強工事を完了したとの報告を受けました。これは全てのリゾートの設備を完全稼働させるための設備投資の一つです。本件に加えて現在並行して行われている2023年9月末までに完了予定のリノベーションの完了を通じて、一層の顧客増加と宿泊単価増加による収益拡大が期待されております。

ゼボラリゾートは、2020年のコロナ禍以降、政府決定による海外からの移動制限等に伴い長期にわたる営業停止を経験した上で、2021年12月に営業を再開いたしました。再開以降は欧米諸国を中心とした国々の富裕層の旅行需要の回復とともに急速に顧客数が増加、現在は過去最高水準まで稼働率と収益性を回復しています。しかし、営業再開時点では一部の施設に対する補修が実施できず、今回改修した Villa を含む一部の設備は現在まで未稼働で、客室を減らした状態で営業しておりました。この稼働客室減の中でコロナ禍の開けた2022年から2023年のハイシーズンにおいては過去最高益を生み出しました。



2023年5月16日でお知らせしております「当社第2四半期連結累計成績の内容に関するご説明」にて解説のとおり、ゼボラリゾートの業績は、第2四半期累計の連結経常利益において約90百万円の利益改善に貢献しております。詳しくは下記をご参照ください。

http://www.wedge-hd.com/cms_v2/assets/files/NEWS/2023/p20230515_2.pdf



今回の改修により、全てのリゾートの設備が再稼働し、2023年10月以降のハイシーズンに向けてさらなる客室稼働数の増加する準備が進んでおります。また、2023年9月中に行われているその他リゾート内施設の改装やリノベーションを通じて5スターホテルとしての品質の向上が見込まれており、コロナ以降低下していた客室単価の上昇にも寄与する予定です。これにより当該リゾート事業の更なる利益貢献を見込んでおります。

当社は2023年5月17日に資本増強および資金調達についてお知らせしておりますが、本件設備投資は、資金調達の目的としてお知らせしておりました内容の一つとなります。当社株主の皆様よりお預かりした資金を将来的に高い収益性が見込まれる事業に積極活用することで業績の一層の拡大を図り、引き続き当社の株主利益を最大化することを図ってまいります。

以上